

「メタバースだから気楽に話せる」30～40 歳代のがん患者が座談会 ～インテージヘルスケア、新たなインタビュー手法でより深い考察を～

株式会社インテージヘルスケア(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:仁司与志矢)と monoAI technology (モノアイテクノロジー)株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:本城嘉太郎)は、30～40 歳代のがん患者を対象にメタバース※¹プラットフォーム「XR CLOUD」を活用した座談会を開催しました。

【背景と目的】

インテージヘルスケアはこれまで、さまざまな疾患の患者を対象とした調査を実施しており、近年は対面に加えてオンラインでのインタビューも増えています。今回、がん患者を対象とした座談会をメタバース上で実施。「自身の姿を他者に見せたくない」「プライベートな話題は話しにくい」などの不安が参加者にある場合の新たなインタビューの手法として、メタバース座談会の有用性を確認しました。



座談会の様子

【調査概要と参加者の感想】

座談会は2回に分けて実施し、テーマは「あなたにとって心地よいオンライン上のつながりとは」「がんになって自分自身が勘違いしていたと思うこと、周囲の勘違いや偏見を感じることはあるか」など。各回にさまざまながん種の患者 3～4 人が集まり、モデレーター(進行役)が提示したテーマを中心に意見を出し、感想を話しました。

参加者が自身の顔を現すことなく、アバター※²を通じて意見を述べたり意思表示したりできることが、メタバース座談会の大きな特徴の一つ。参加者の満足度は高く、次のような感想が上がりました。

「病気はかなりプライベートなこと。アバターを使って話せたので、安心して気持ちをさらけ出せた」「顔を出さなくてよいので、自分の疾患について率直に深い話ができよかった」「ほかの参加者がアバターでリアクションを示してくれたので、安心して話すことができた」「アバターのキャラクターがすごくかわいいと感じた」

これらの感想から、アバターの使用によって発言への心理的なハードルが下がったことがうかがわれ、またアバターのリアクションから互いの反応を可視化できたり、キャラクターに愛着を持てたりしたこともメタバース座談会の高い満足度につながったと推察されます。

本座談会のレポートは後日、インテージヘルスケアのウェブサイトで開催を予定しています。

【インテージヘルスケア調査担当者のコメント】

メタバースでのインタビューは、適する年齢層など、対象者との親和性を加味する必要があります。しかし、操作は比較的容易であり、参加者のプライバシーに関する不安を軽減できるメリットは大きいと考えます。今回のメタバース座談会では、「顔を現したくない」と考える参加者から、「アバターを使うことで深い話ができる」という感想が得られており、このことはより深い分析や考察につながる可能性もあります。

テーマや体調により、また治療の過程で容姿に変化が生じた場合など、「姿を現さずに話したい」という要望に対する一つのインタビュー手法として、メタバースを用いる調査の効果を測っていきたいと考えています。

【XR CLOUD について】

monoAI technology は、数万人が同時に接続可能な企業向けメタバースプラットフォーム「XR CLOUD」を提供しており、商談会や国際会議、会社説明会など、数多くのイベントを実施しています。独自に開発した大規模通信基盤を搭載した XR CLOUD は、顧客企業への技術提供による高い拡張性を特徴とするほか、PC/スマホ/タブレットなどの幅広いデバイスに対応しており、それぞれのニーズに合うイベントをメタバース上で開催することが可能です。また、会話の内容に対して「拍手」「同意」「悩み中」などのアクションボタンを押して自分の気持ちを表現できます。

今回のメタバース座談会において参加者は、事前に用意されたアバターから任意のキャラクターを選び、互いをニックネームで呼び合いました。

※1 メタバース: インターネット上につくられた仮想空間のことを指す。メタバースの利用者は 3DCG 空間で自分の姿をアバターに変え、他者と交流したりコンテンツを楽しんだり、商品売買などの経済活動を行ったりすることができる

※2 アバター: 仮想空間上で利用者の「分身」のように表示させるキャラクターのこと

【株式会社インテージヘルスケア】 <https://www.intage-healthcare.co.jp/>

株式会社インテージヘルスケアは、ヘルスケア領域のマーケティングリサーチおよび医薬品開発・製造販売後調査・安全性業務支援をコアビジネスと位置付けています。インテージグループのヘルスケア領域を担う各社※と一体となり、ソリューションを提供。それにより、ヘルスケア領域のあらゆる課題に対して、「医療消費者」起点のデータの価値化による、最適な意思決定をサポートしていきます。

株式会社インテージヘルスケアは 2019 年 4 月、株式会社アスクレップと株式会社アンテリオが経営統合し、スタートしました。

※ 株式会社協和企画、株式会社インテージリアルワールド、株式会社プラメド、Plamed Korea Co., Ltd.

【monoAI technology 株式会社】 <https://monoai.co.jp/>

monoAI technology は、「先進技術で、エンタメと社会の未来を創造する。」をミッションとし、通信ミドルウェア事業や XR ソリューション基盤の開発、AI を用いたソフトウェア品質保証サービスの開発等で培った最先端技術を生かして、数万人規模で同時接続のできるメタバースプラットフォーム『XR CLOUD』を開発・運営しています。所在地：兵庫県神戸市中央区三宮町一丁目 8 番 1 号 さんプラザ 3 階 34 号室

代表取締役：本城 嘉太郎

設立日：2013 年 1 月

XR CLOUD：<https://xrcloud.jp/>

メタバース相談室：<https://xrcloud.jp/blog/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社インテージヘルスケア

マーケティング・インサイト事業部 患者インサイト室：金井(かない)・野口(のぐち)

広報担当：川畑(かわばた)

TEL：03-5294-8393(代)

お問い合わせ：pr-ihc@intage.com

お問い合わせフォーム：<https://www.intage-healthcare.co.jp/contact/service/>